

2015年(平成27年)9月9日

東亜グラウト工業

多摩市庄送管で実施工

アイスピグ 管内洗浄工法 120m短時間で洗浄

約5分後にはアイスピグが回収口に到達。洗浄効果を確認するため設けたアクリル管によってピグが夾雑物を包み込み、黒色に変化していること

が確認された。実際の施工時間は30分以内、施工前準備から工事車両等の撤去まで約4時間ほどで完工した。

今回、管きよ清掃業務委託工事を発注した同市下水道課の管路維持管理担当職員は、「年に1、2回の頻度で高圧水洗浄を試みてきたが、なかなか洗浄効果が得られなかった」と話し、

東亜グラウト工業(大岡信三社長)は8日、多摩市蓮光寺地区の庄送管で、アイスピグ管内洗浄工法による管内清掃工事を実施した。対象管路はφ100×122の庄送管。洗浄区間は住宅街に位置し、洗浄区間上下流の高低差は10mに及び、道路占用の早期開放が求められる難現場。管内洗浄により黒色があった夾雑物の除去に効果が認められ、発注元の多摩市から好評を得たほか、同日開催の見学会では隣の稲城市職員、民間企業関係者約30名が参集し、同工法への理解と関心を深めた。



「施工時間も早く、目に見えて管内洗浄効果も確認できた。市内には庄送管区間が数多く存在するため、これらの難現場でも威力を発揮するのでは」と高く評価した。

アイスピグ管内洗浄工法は専用製氷機により生成された特殊アイスシャーパーットを管内に注入し効果的に管内洗浄を行う革新的技術。平成23年に同社が国内導入し、下水道分野では庄送管伏越部やマンホールポンプ庄送管を中心に洗浄実績を伸ばしている。

現場は、路地が輻輳す

見学会には約30名が参加